

各関係機関の長 殿
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和4年度病害虫防除情報第4号

サツマイモ基腐病について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

**本年産サツマイモ栽培において、サツマイモ基腐病が本ぽで確認されました。
今後の発生拡大防止のため、適切な対策を徹底しましょう。**

- 1 作物名 かんしょ
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病

3 発生状況(経過)

5月下旬、原料用サツマイモのほ場（品種：コガネセンガン）において、サツマイモ基腐病の発生が確認された（写真1）。今後、梅雨入りに伴い、本病に好適な条件が続くことが予想され、本ぽでの発生拡大が懸念される。



写真1 本ぽにおける発病株（左：全体、右：地際部）

4 本ぽにおける対策のポイント

- (1) 定植後に発病した株（写真1）は、症状の進展とともに、病斑部に大量の胞子を形成し、降雨等により周辺に拡がることから、ほ場での発生の有無をこまめに確認し、発病株の早期発見・除去に努める。
- (2) 発病株（写真1）を見つけた場合は、早急に抜き取り、ほ場外に持ち出し、適切に処分する。また、周辺株への伝染を予防するため、薬剤による予防散布を行う。散布の際は、株元にしっかり薬液がかかるよう注意する。
- (3) 定植後、5～6週間頃から発病し始め、その後急速に進展するため（図1）、定植から5週間目を目安にアミスター20フロアブルによる防除を行う。アミスター20フロアブルは耐性菌の発生リスクがあることから、連用は避け、銅剤（ジーフイン水和剤又はZボルドー）との交互散布を行う（表1）。

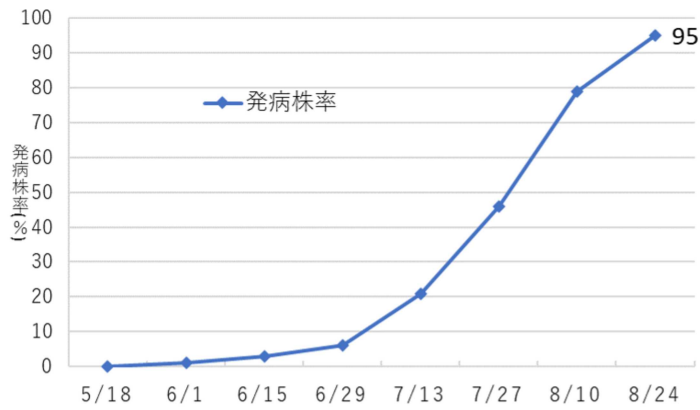


図1 甚発生ほ場における発病株率の推移 (2021年、5月上旬定植)

表1 サツマイモ基腐病に対する茎葉散布の登録農薬 (2022年6月1日現在)

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期	使用方法
ジーファイン水和剤	1,000倍	—	収穫前日まで	散布
Zボルドー	500倍	—	—	散布
アミスター20フロアブル	2,000倍	3回以内	収穫14日前まで	散布
	12~32倍	3回以内	収穫14日前まで	無人航空機による散布

※農薬は、使用する前に必ずラベルの表示を確認し、適正に使用すること。

○本病に対する詳細な防除対策は、以下のマニュアルを参照すること。

- ・【宮崎県】サツマイモ基腐病 対策マニュアル (令和3年度版)
https://www.pref.miyazaki.lg.jp/documents/67650/67650_20220301190612-1.pdf
- ・【農研機構】サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策 (令和3年度版)
https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/files/stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotator03.pdf



《連絡先》 宮崎県総合農業試験場 病虫害防除・肥料検査課
 (病虫害防除・肥料検査センター) 阿萬・久野
 TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127
 E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp